

もの忘れ？

思い当たることありませんか

認知症は高齢者だけとは限りません！

若年性認知症



栃木県

若年性認知症とは？

認知症とは、さまざまな原因で脳の働きが悪くなって記憶力や判断力が低下し、日常生活にまで支障が出るような状態を指します。

脳の働きが悪くなることによって、**記憶障害**や時間、場所の感覚が把握できない**見当識障害**、**理解・判断力の低下**、計画的に行動できない**実行機能の低下**、ことばがうまく使えない**失語**などの「**中核症状**」が現れます。

また、**徘徊**や**暴言・暴力**、**興奮**、**焦燥**、**無為**などの**行動症状**や、**うつ**状態や**妄想**、**幻覚**、**不安**などの**心理症状**が**周辺症状**として出現することがあります。これを「**行動・心理症状（BPSD）**」と呼んでいます。

認知症は、高齢になるとともに発症しやすくなるため、高齢者に多い病気といえますが、高齢者でなくても若くして認知症を発症することがあります。

65歳未満で発症した認知症を「**若年性認知症**」といいます。

若年性認知症は、働き盛りで社会や家庭で重要な役割を担っている時期に発症するため、病気によって仕事や行動に支障をきたすことは、本人や家族だけでなく社会的にも影響を及ぼします。

思い当たることはありませんか？

【家族が最初に気付いた認知症の日常生活の変化】

- ・ 同じことを何度も言ったり聞いたりする。
- ・ 物の名前が出てこなくなった。
- ・ 置き忘れやしまい忘れが目立つ。
- ・ ささいなことで怒りっぽくなった。
- ・ 計算の間違いが多くなった。
- ・ だらしなくなった。
- ・ いつも降りる駅なのに乗り過ごした。
- ・ 夜中に急に起き出して騒いだ。
- ・ 財布を盗まれたと言う。



加齢に伴うもの忘れ

体験の一部を忘れる
記憶障害のみがみられる
もの忘れを自覚している
探し物を努力して**見つけよう**とする
見当識障害はみられない
取り繕いはみられない
日常生活に支障はない

認知症のもの忘れ

全体を忘れる
記憶障害と**判断・実行機能障害**がある
もの忘れの**自覚が乏しい**
探し物を**誰かが盗んだ**という
見当識障害がみられる
しばしば**取り繕い**がみられる
日常生活に**支障**をきたす